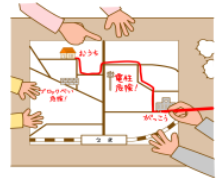


コープ災害ボランティア ネットワークニュース

【 86 号】2016年9月

東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL: 03-3383-7800

防災まち歩き・マップづくり トレーナー養成講座 <開催報告>



2016年度のスキルアップ講座、防災まち歩き・マップづくりトレーナー養成講座を9月17日(土)10時～16時に東京都生協連北新宿事務所で行いました。参加者は、ファシリテーターを含め17名。今年は、地域の歴史を知ることや町の成り立ちを知るために、新宿区百人町三丁目町会長から事前に説明を伺い、すすめました。

《午前10時～午後4時までの講座スケジュール》

- 10:00 開会・挨拶
- 10:05 オリエンテーション
- 10:15 地域の特徴を知る
新宿区百人町三丁目町会長: 浅井春夫氏
- 10:45 まち歩き講習事前準備
・事前準備 ・コース設定 ・下見のポイント
- 11:00 まち歩き実習(2コース)
・防災倉庫、学校(避難所)ほか
- 12:30 まち歩き実習ふりかえり
- 12:45 昼食・交流
- 13:20 マップづくり説明・事前準備
・マップづくりのポイント
- 13:50 マップづくり実習
- 15:00 休憩
- 15:10 マップづくりふりかえり
- 15:30 講座ふりかえり、アンケート記入
修了証授与
- 16:00 終了

□大矢代表幹事・開会挨拶

トレーナー養成講座は、会員生協等の防災・減災講座に講師やファシリテーターで参加できるリーダーを育てるために養成講座で一度まち歩きを経験した会員を対象に開催しています。「自分たちのまちは自分たちで守る≒共助」の意識を持つことが最大の目的です。ネガティブな部分をさがすのではなく、ポジティブな部分を探すような雰囲気でもち歩きをしていきましょう。



新宿区百人町三丁目町会長
浅井 春夫氏

□新宿区百人町三丁目町会長の浅井春夫氏にまちの特徴や歴史をお話いただきました。『歩く前に事前学習ができていて、自分たちの考えるコースに深みを加えることができる』という感想もあり、地域の方と一緒に歩くことの利点が多くみえ、今後の活動に活かしていく大きな気づきになりました。



□トレーナーとして参加者に歩いてもらい、数多くの気づきをもってもらうために、何をテーマにどこをみてもらうかを地図にしていきます。まずは、どこに何があったかの確認です。マーキングの仕方にもいろいろな工夫が必要なが分かりました。



どの地域でも見られる表示や設備などの設置場所を地図に落とし込みます。



「今、どこを歩いているの？」
時々地図上で打ち合わせ。

地域特有の設備を見つけることもまち歩きの楽しみです。
そのまちのよさを見つけましょう。

□浅井会長と歩いたことで、普段は見ることのできない公園や避難場所になっている小学校にある備蓄庫内を見ることが出来ました。備蓄品にも各地域の特徴があるかと思えます。『まちをよく知る人との関わりが重要だと思いました。日頃から町内との関わりを意識して生活したいと思った』という感想もあり、まち歩きを企画する際のポイントに加わりました。



百人町三丁目にある、「ベンチ型かまど」です。訓練時には、実際に汁物を作り、使い方を学びます。

マップづくり

昼食時間を、各チームでまち歩きの振り返りをしながら楽しく交流する時間に当てました。(少しスケジュールがタイトだったこともあります…) 企画の組み立ての中に交流の時間を入れることで、知識が広がったり、自分の地域で知り合いが増えていく良い点がたくさんあります。学習一辺倒にならずに交流することも大切だと考えます。



トレーナー、ファシリテーターの進め方を参考に、次はみなさんが実施する番です！ぜひ、地域でまた各生協で企画して広げてください。

□マップづくりの説明と事前準備として、今回は大きな白地図にそれぞれが気づいたことや重要と思うことを出し合い、マーキングしていきました。みんなで意見を出し合ううちに、自分が作りたいコースやそのコースの目的などみえてきたものを共有し、グループごとのマップづくりに進めて行きます。

次々と出される意見を整理し、マーキングするファシリテーター



□グループに分かれマップづくり。
視点は、トレーナーとしてどんな目的で歩いてもらい何に気付いてほしいかを考えながら、マーキングしていきます。
また、付せんにて特徴なども書き込み、自分たちなりのコースづくりをしました。
『コース作りの大切さ、参加者のターゲットなどにもよること気づいた』『参加者に集中してもらえるコースの作り方をしたい』『参加者から意見や考えを引き出すには』など、マップづくりでの気づきがアンケートにありました。



2つのチームから、作ったコースの発表、しっかりと目的や見てほしいところが組み込まれていました。



《アンケートから》

- ◆まずは、1回自らやってみようと思います。
- ◆地域のつながりがポイントになることを浅井会長から教わりました。
- ◆スキルアップしつつ、学んだことを周囲に伝えていきたいです。
- ◆参加者の安全を確認しながらまち歩きをする必要があることなど気づきました。



修了証とまち歩き・マップづくりの資料CDが渡されました。修了者は7名です。



□野崎副代表幹事・閉会挨拶

災害時は、まず自分が生き残ること、次に生き続けるために協力して助け合わなければいけない。地域の人と一緒に防災マップ作りをすすめる意味がここにあります。ポケモンGOで地域の文化的財産を知るなど、防災マップづくりを楽しく参加してもらおうヒントにゲームやSNS活用もあり、楽しみながら防災意識を高める工夫をこの講座を活かして展開していきましょう

今回のトレーナー養成講座は、新宿区百人町三丁目町会長を講師に迎えたことで、地域の方と一緒にすすめることが大変有効であると参加者から評価があり、自分が実践する際も地域的话题を盛り込んだものにしたと多くの感想がありました。また、受講者のアンケートからは、自分の所属する生協や社協、地域サークル(ボーイスカウト)などで講師やファシリテーターとしての機会があれば活動したいとありました。今回の講座では、スキルアップの目的が達成されたことを実感しました。提供した資料等も活用して、いろいろな地域に防災の意識が広がることに期待します。

「平成28年度 東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練」参加報告

2016年9月4日(日)、東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練が都立水元公園において開催されました。東京都生協連は、東京都の物資輸送訓練と防災クイズラリーなどパネル展示コーナーに参加、コープ災害ボランティアネットワーク(以後 CO 災ボ)は、葛飾区社会福祉協議会の訓練にボランティア参加しました。

統一テーマ 「自助・共助」と「連携」

ボランティア参加の合間に色々なブースを見学、体験することも多くの気づきになりました。



◆CO 災ボ会員 6 名は、住民による自助・共助訓練会場で葛飾区社会福祉協議会のボランティアセンター立ち上げ訓練にスタッフとして参加し、ボランティアとして参加した区内高校の生徒等が訓練参加する前の受付作業を担当しました。また、高校職員と生徒が参加したワークショップでアドバイスするなど、今までにない気づきを得ることができました。



◆東京都生協連は、緊急支援物資搬送訓練に参加し、対策本部ブースを設け、東京都と各生協との無線訓練、東京都から発注された支援物資を各生協拠点から広域防災拠点に輸送する訓練に参加しました。

また、医療救護班活動訓練にも参加、避難所における負傷者に対し、初期医療措置(第1次トリアージ)等を実施しました。

◆パネル展示のコーナーでは、被災地支援のパネルや防災啓発パネル(備蓄品のすすめなど)を展示するとともに、CO 災ボ養成講座の紹介と「防災まち歩き・マップづくり」のパネルも展示しました。



※9月には防災週間でした。みなさんの地域でも防災訓練が多様な視点で実施されたのではないのでしょうか。

水元公園の合同防災訓練に参加し、いろいろなブースを見たり訓練に参加した会員の方や、自分の地域の訓練に参加された会員の方は、ぜひその体験談などお知らせください。会員のみなさんで共有していきたいと思っております。

下の欄にご記入の上、**FAX 03-3383-7840** 等でお知らせください。

(CO 災ボ事務局行き)

名前 _____ (_____ 期生)